

令和 7 年度  
「運営に関する計画」



大阪市立加美小学校  
令和 7 年 4 月

## 大阪市立加美小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題** 令和 6 年度の小学校学力経年調査の結果は次の通り。

- 「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的な回答をした児童の割合は 71.4
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答した児童の割合は 80.2
- 不登校児童の在籍比率は 0.38
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答した児童の割合は 30.2
- 国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、  
6 年生：国(0.82)・算(0.80) 5 年生：国(0.99)・算(1.00) 4 年生：国(0.94)・算(0.93)
- 「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答した児童の割合は、65.8
- 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答した児童の割合は、63.7

結果から、自尊感情を高めるだけでなく友達を大切に思う心を養う必要性が鮮明になった。また、国語科や算数科の学力、そして学びに向かう積極的な姿勢の育成も急務であることが分かった。そのためには子どもたちが「わかる・できる」を実感できる授業、胸が躍り感動のある活動や体験の場が日々の学校生活で繰り広げられることが求められる。本校独自の教育理念「子どもの笑顔のある学校」を柱として令和 4 年度から 7 年度まで、次に掲げる中期目標の達成ために学校運営の計画に沿って取り組む。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】****【安全・安心な教育環境の実現】**

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **80%以上** にする。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を **86%以上** にする。
- 毎年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を **前年度より減少** させる。
- 毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を **増加** させる。

**【豊かな心の育成】**

- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **70%以上** にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】****【誰一人取り残さない学力の向上】**

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を **40%以上** にする。

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、毎年度、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も **前年度より 1 ポイント向上** させる。

- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **82%以上** にする。

○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **77%以上** にする。

**【健やかな体の育成】**

- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を **65%以上** にする。

**【学びを支える教育環境の充実】****【教育DXの推進】**

- 授業日において、児童の **8割以上** が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の **30%以上** にする。

**【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】**

- 時間外勤務時間上限基準の達成率を **基準1「60%」基準2「90%」** を保つ。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**80%以上**にする。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を**86%以上**にする。
- 毎年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を**増加**させる。

【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】

- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**70%以上**にする。

【基本的な方向2 豊かな心の育成】

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を**40%以上**にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、毎年度、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**82%以上**にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**77%以上**にする。

【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】

### 【健やかな体の育成】

- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を**70%以上**にする。

【基本的な方向5 健やかな体の育成】

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の**8割以上**が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の**30%以上**にする。
- 時間外勤務時間上限基準の達成率を**基準1「60%」基準2「90%」**を保つ。

【基本的な方向6 教育DXの推進】

【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

## (様式2)

## 大阪市立加美小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<b>80%</b>以上にする。 (R6 78.7)</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を<b>86%</b>以上にする。 (R6 80.2)</p> <p>○毎年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を<b>前年度より減少</b>させる。 (R6 0.38)</p> <p>○毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を<b>増加</b>させる。</p> <p style="text-align: right;">【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<b>70%</b>以上にする。 (R6 71.4)</p> <p style="text-align: right;">【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>生活指導部を中心に児童が主体的に行動できる取組を行う。</p>	
<p><b>指標</b>：学校のきまりを年間2回以上見直す機会を設けたり、3つの柱(挨拶/清掃/身だしなみ)の生活目標を提示し、朝会などで生活指導に関する声かけを行ったりする。校内アンケートで「学校のきまりを守ることができているか」も項目で肯定的に回答する児童の割合を<b>75%</b>以上にする。</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b></p> <p>自己理解・他者理解の深化を図り「共に学び・育ち・生きる教育」を推進する。</p>	
<p><b>指標</b>：人権教育・国際理解教育・特別支援教育の研修を年間3回以上実施する。</p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b></p> <p>いじめ事案や不登校傾向になりそうな児童を確実に認知して、組織的に対応する。</p>	
<p><b>指標</b>：月に一度、生活指導連絡会を開催するとともに、いじめアンケートを年間3回実施して、いじめ事案の解消を<b>100%</b>にする。</p>	
<p><b>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b></p> <p>全ての児童が活躍する場を設定し、児童が自分のよいところを実感できる学級活動や異学年交流などの特別活動を実施する。</p>	
<p><b>指標</b>：年間を通して、学級で友達のいいところを紹介し合ったり、各行事後に振り返り活動を設定したり、校内表彰を学期に2回以上行ったりする。</p>	

(様式2)

## 大阪市立加美小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を<b>40%</b>以上にする。 (R6 30.2)</p> <p>○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、<u>毎年度</u>、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も<b>前年度より1ポイント向上</b>させる。 (R6 全学年未達成)</p> <p>○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<b>82%</b>以上にする。 (R6 60.5)</p> <p>○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<b>77%</b>以上にする。 (R6 65.8)</p> <p style="text-align: center;">【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を<b>70%</b>以上にする。 (R6 63.7)</p> <p style="text-align: center;">【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> 国語科を中心に、話し合い活動を取り入れた授業を実施する。</p>	
<p><b>指標：</b>校内アンケートで「話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができたか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を<b>40%</b>以上にする。</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> 校内で研究授業や研修会を実施したり、他校の授業や研修に参加したりする。</p>	
<p><b>指標：</b>一人1回以上の公開授業を実施するとともに、授業力の向上に関する研修を年間5回以上行う。</p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</b> 基本的な生活習慣が身に付くように、健康教育を実施する。</p>	
<p><b>指標：</b>校内アンケートで「ハンカチ・ティッシュを携行しているか」「手洗いをしているか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を<b>80%</b>以上にする。</p>	
<p><b>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</b> 運動能力・運動習慣の向上を目指した研修や体育的行事を年間3回以上実施する。</p>	
<p><b>指標：</b>校内アンケートで「運動することや外遊びが好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童を<b>70%</b>以上にする。</p>	

## (様式 2)

## 大阪市立加美小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○授業日において、児童の<b>8割以上</b>が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の<b>30%</b>以上にする。 (R6 2.8%)</p> <p><b>【基本的な方向 6 教育DXの推進】</b></p> <p>○時間外勤務時間上限基準の達成率を<b>基準1「60%」 基準2「90%」</b>を保つ。 (R6 達成)</p> <p><b>【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向 6 教育DXの推進】</b> デジタルドリルなどを活用した課題に取り組ませる。	
<b>指標 :</b> 「心の天気」を入力する習慣を身に付けさせる。デジタルドリルやスカイメニューなどのアプリを活用した授業を実施したりする。(週4回以上一人一台端末を活用)	
<b>取組内容②【基本的な方向 7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】</b> 働き方改革を推進する。	
<b>指標 :</b> ゆとりの日を週1回設定する。	
<b>取組内容③【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</b> 学校協議会を中心に特色ある取組を進める。	
<b>指標 :</b> 学習参観や加美ふれあい広場、地域挨拶運動などを計画・実施する。	